

特定非営利活動法人 **MAKE THE HEAVEN**  
2013年度 年次報告書

思うだけでなく、考えるだけでなく、  
語るだけでなく、祈るだけでなく、  
動けば変わる。

## contents

- 代表挨拶・・・・・・・・・・・・・5
- 活動理念・目標・活動概要・・・・・・・・・・6
- MAKE THE HEAVENの足跡・・・・・・・・・・7
- 組織図・理事紹介・・・・・・・・・・・・・8
- 活動紹介
  - \*カンボジア自立支援プロジェクト  
[MAKE THE HEAVEN CAMBODIA]・・・・・・・・9
  - \*植林・間伐プロジェクト  
[WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL]・・・・15
  - \*東日本大震災復興支援プロジェクト  
[め組JAPAN]・・・・・・・・・・・・・・19
  - \*啓発事業  
[映像部・ツアー・イベント]・・・・・・・・22
- 会員・募金一覧・・・・・・・・・・・・・・24
- 会計報告・・・・・・・・・・・・・・・・・26



カンボジア自立支援プロジェクト



植林プロジェクト



東日本大震災復興支援プロジェクト



啓発事業

## 代表あいさつ

いつもMAKE THE HEAVENの活動を応援して下さい、また、現場で同志として動いて下さり、本当にありがとうございます。

2013年は、め組JAPANの東北での活動には2人が残り、緑の防潮堤が出来る事を夢見ながら苗木を育てたり、仮設住宅の寄り添い活動を続けました。

ワンフェスは、今年も4月と9月に中国植林を行い、9月の植林には僕も久しぶりに参加して、内モンゴルの現場に行ってきました。せっかく育った苗木を野生のラクダに食べられたりもしましたが、現地の人々の協力もあって5年前に植えた苗木達は立派に成長し、「もう、ここが沙漠とは言わせない！」と言えるくらい沙漠をしっかり止めて森になろうとしていました。ぜひ、皆さんにも現場に行って直接見てもらい、諦める必要はないんだというメッセージを受け取って頂けたらと思います。

カンボジアの活動も順調に進み、今年は夏に開催したイベントの収益で小学校を一つ創る事が出来ました。2日間のイベントでいっぱい笑っていっぱい感動してもらい、その売り上げでカンボジアの子供達が学校に通えるようになるという理想の活動が出来ました。自分達が楽しんで動いたら、それが結果的に誰かの為になっていた！そんな活動を僕達は目指しています。

新しい映画の製作は、現在ガンと



## ボランティア活動を身近に感じてもらうきっかけ作りをやっていきます

向き合っている方の取材を行っており、まだ完成の日程を伝える事が出来ません。自分の中で「これは絶対に希望を届けられる！」というところまで取材をしたいと思っていますので、もう少々お待ち下さい。

僕自身は、2013年はワークショップやアホ学を中心に活動してきましたが、2014年は講演会を積極的に行い、MAKE THE HEAVENの活動を全国で伝えさせてもらって、ボランティア活動を身近に感じてもらうきっかけ作りをやっていきますので、ぜひ、講演会を主催してして下さい。

2014年は、フィリピンの支援プロジェクトを始める準備もしていますので、動き出した時にはぜひお力を貸して下さい。

MAKE THE HEAVEN 代表  
てんつくマンこと 軌保博光



## MAKE THE HEAVEN

### 理念

「思うだけでなく、考えるだけでなく、語るだけでなく、祈るだけでなく、動けば変わる」を合言葉に、笑い楽しみながら活動します。

### 目標

MAKE THE HEAVEN の目標は、

**世界中の子供達の笑顔を増やす事、森を増やして当たり前前に雨が降る地球を残す事、そして、一人でも多くの人の中に元気や希望が増えるきっかけを創る事です。**

「一人の力は小さいかもしれない。しかし決して無力ではない」という思いから、みんなの「はじめの一步」をサポートし、行動する人を増やす事によって、誰かが誰かの為に動き出すのが当たり前になる世の中を創り、地球に「緑」と「笑顔」と「希望」を増やしていきます。いろんな活動を、正義感でやるのではなく、笑い楽しみながら行動する事で「いつのまにか誰かの為になっていた」そんな新しい常識を創りながら、一人でも多くの人の中に希望の明かりを灯していきます。

### 活動概要

MAKE THE HEAVEN は、未来への希望を増やすために 2012 年も「笑い楽しみながら」をモットーに活動しました。

#### ■ カンボジア支援プロジェクト「MAKE THE HEAVEN CAMBODIA」

カンボジアへの支援を通して、カンボジアと日本の心を繋ぎ、笑顔が増えるための支援を行いました。

#### ■ 植林・間伐プロジェクト「WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL」

「緑」と「希望」いっぱいの地球を未来の子供達に届けるために、国境も年齢も性別も超え、皆で力を合わせて植林や森の手入れを実践しました。

#### ■ 東日本大震災復興支援プロジェクト「め組 JAPAN」

宮城県石巻市近郊で、東北に笑顔が届けるために、人と人との繋がりを大切にして寄り添い活動と緑の防潮堤のための育苗を行いました。

#### ■ 啓発事業

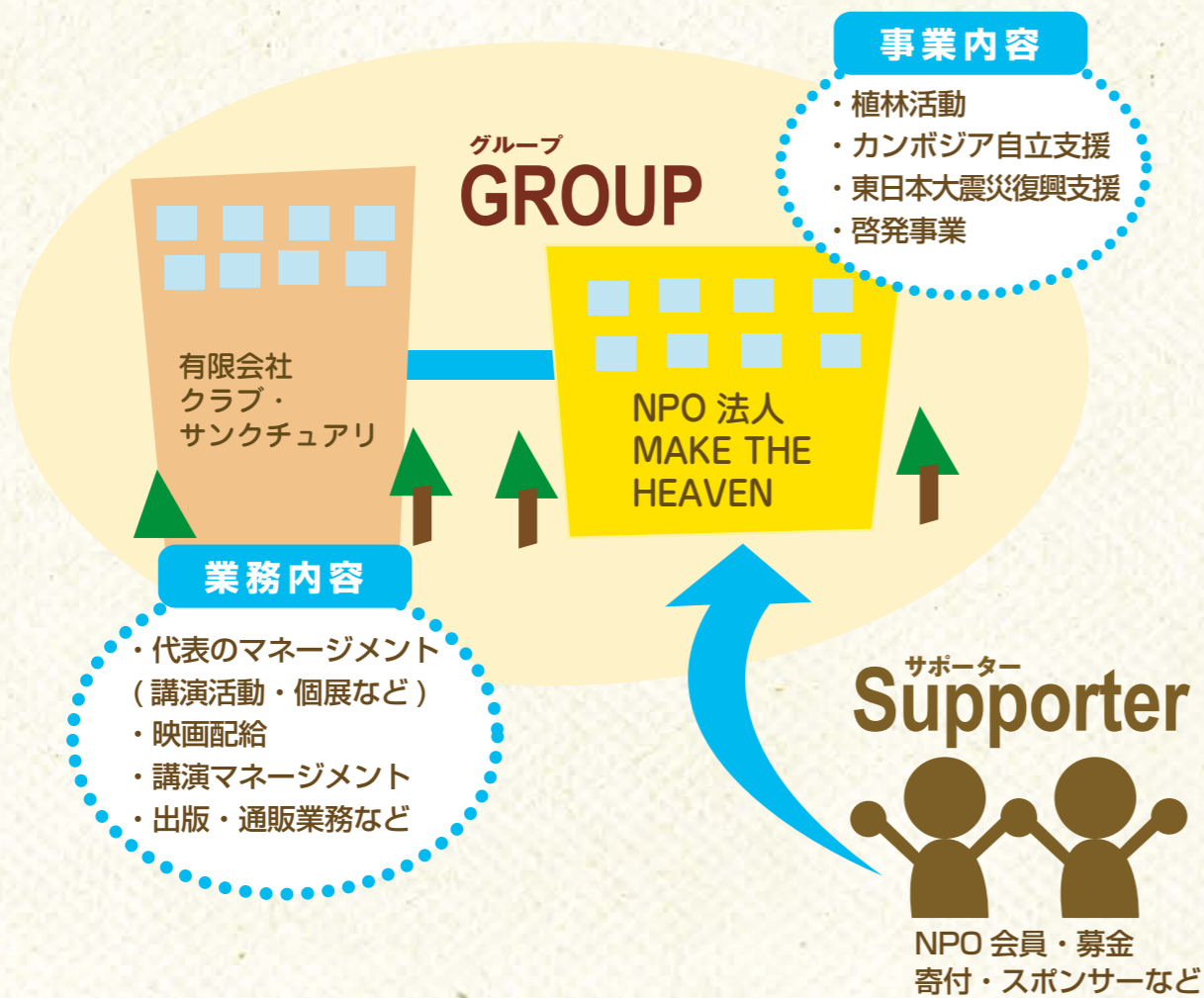
一人でも多くの人に、笑い楽しみ感動しながらはじめの一步を踏み出してもらうために、映像制作、ツアー、イベントなどを行いました。

### 足あと

- 2004 年 4 月 **NGO MAKE THE HEAVEN 設立** \*環境問題や海外支援に取り組んだ事をきっかけとして、世界の子供達の笑顔を増やしたいという熱い思いを持った仲間が集り、NGO MAKE THE HEAVEN が誕生しました。
- 2004 年 8 月 **カンボジア支援プロジェクト発足。** \*同年 12 月からカンボジア井戸掘り支援を開始し、2013 年までに、868 基の井戸を届ける事が出来ました。
- 2005 年 4 月 **植林プロジェクト発足。第 1 回中国内モンゴル植林ツアー開催** \*2013 年までに、中国内モンゴル、ブラジル、南アフリカの 3 ヶ国と、和歌山、熊本で計 16 回の植林ツアーを行い、延べ 2,171 人に参加頂き、植林本数は約 49 万本となりました。
- 2005 年 11 月 **ブノンペンにカンボジア支援プロジェクト事務局を設置** \*カンボジアの子供達へ奨学金を贈る教育里親支援を開始し、2013 年までに、3,922 人の子供達が学校に通えるようになりました。
- 2006 年 1 月 **小豆島にて、げんきのたねまきプロジェクト発足** \*2011 年 5 月末を持って、6 年間の活動を終了しました。2011 年までに、延べ 1 万人以上の方が参加してくれました。
- 2008 年 11 月 **植林プロジェクトを「WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL」と名付け、一円募金プロジェクトを開始** \*2013 年までに、867 名(チーム)の一円ヒーローが誕生しました。
- 2009 年 11 月 **当法人理事長が監督を務めるドキュメンタリー映画「107+1 ~天国はつくるもの~ Part2」が完成及び公開** \*2012 年までで、同映画 Part 1 と合わせて自主上映による観客動員数が 21 万人を突破しました。[配給は有限会社クラブ・サンクチュアリ]
- 2010 年 4 月 **間伐プロジェクト開始** \*2013 年までに静岡、山梨、熊本、奈良、宮城、和歌山で計 8 回間伐ツアーを行い、延べ 357 人に参加頂き、758 本のスギ、ヒノキを間伐しました。
- 2010 年 5 月 **ロックバンドおかんと専属事務所契約**  
\*2013 年 4 月 大阪城ホールでロックバンドおかん単独公演を実施し、約 6 千人が来場。大阪城ホールの単独公演成功を持って、MAKE THE HEAVEN から独立しました。
- 2010 年 8 月 **NGO から香川県の認定非営利活動法人(NPO 法人)に認定登録**  
\*現在は、北海道の認定非営利活動法人(NPO 法人)に認定登録
- 2011 年 3 月 **東日本大震災復興支援プロジェクト「め組 JAPAN」発足** \*2013 年までに延べ 2 万人以上のお手伝いクルー(ボランティア)が参加してくれました。
- 2011 年 6 月 **送電線国有化のための署名募集開始** \*2012 年 10 月までに 179,820 名分の署名を頂き、経済産業省に届けました。
- 2011 年 8 月 **疎開プロジェクト洞爺バケーション開催** \*2013 年までに計 3 回(毎年の夏休み)開催し、延べ 337 人の親子が参加してくれました。
- 2012 年 1 月 **緑の防潮堤プロジェクト「希望の森モリ大作戦~東北植林編~」発足(WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVALとめ組 JAPANの共同企画)** \*植林実現に向けて、ビニールハウスで約 14,000 本の苗木を育成しています。
- 2013 年 4 月 **カンボジア学校建設プロジェクト発足**  
\*2013 年までに、7 つの小学校と孤児院の建物を建設しました。
- 2013 年 8 月 **MAKE THE HEAVEN 史上最大のイベント「祭りだ祭りだ~アホの岩戸開きワッハッハ!! ~」を開催**  
\*17,18 日の 2 日間で延べ 3 千人を動員し、イベント収益でカンボジアに小学校を一つ建設しました。



事業内容



MAKE THE HEAVEN 役員名簿

理事長	軌保 博光	有限会社クラブ・サンクチュアリ代表取締役
理事	中村 文昭	有限会社クロフネカンパニー代表取締役
理事	大嶋 啓介	有限会社てっぺん代表取締役
理事	奥芝 洋介	株式会社NEXT LEVEL 代表取締役
理事	松岡 宏樹	株式会社俺ん家のめし代表取締役
理事	川島 肇子	特定非営利活動法人MAKE THE HEAVEN 副理事長
理事	椋島 実	有限会社クラブ・サンクチュアリ取締役営業本部長
理事	植木 宏	特定非営利活動法人MAKE THE HEAVEN
監事	二瓶 明	サンクチュアリグループ監査役・統括経理

MAKE THE HEAVEN CAMBODIA

カンボジア支援  
プロジェクト

今カンボジアでは、首都プノンペンを中心に目覚ましい経済成長をしている一方で、学校や井戸の不足、貧富の差の拡大等により、雇用を得るために必要な「教育」が受けられない子供達がたくさんいます。当プロジェクトは、お預かりしている支援金がどんな笑顔に変わっているのか「見える支援」を大切にしながら、教育支援やスラムや孤児院の自立支援等を通して、子供達の人生の選択肢が増え、日本にもカンボジアにもたくさんの笑顔が増えるきっかけを創り、お互いに成長していける活動をしています。

2012年度もたくさんのご支援を頂き、各プロジェクトを遂行出来ました。また、たくさんの日本人がカンボジアを訪れ、子供達のキラキラな笑顔に出逢って一緒に楽しく交流する事で、日本にもカンボジアにもたくさんの笑顔を増やす事が出来ました。



足あと

- 2004年 バサックスラム支援開始
- 2004年 第1回スタディツアー開催  
\*計22回のツアーを行い、延べ484人に参加頂きました。(2013年までの総計)
- 2004年 井戸支援開始  
\*868基の井戸を掘りました。(2013年までの総計)
- 2005年 奨学金制度ババママ支援開始  
\*3,922名の子供達を支援しました。(2013年までの総計)
- 2005年 第1回ジャパンツアー開催  
\*計4回のツアーを行いました。(2013年までの総計)
- 2005年11月 カンボジアにプノンペン事務所設立
- 2006年3月 ブレイ克蘭村に学校を建築し、開校式を実施
- 2006年6月 バサックスラム移転時の緊急支援実施
- 2007年10月 第1回ババママツアー開催  
\*計2回行い、延べ32人に参加して頂きました。(2013年までの総計)
- 2009年 バサックスラム幼稚園建築
- 2010年 公立小学校1校建築・ブレイ克蘭村の学校改築
- 2011年 くっくま孤児院運営開始・孤児院引越
- 2011年 公立小学校1校建築
- 2011年 第1回くっくまツアー開催  
\*計4回のツアーを行い、延べ101人に参加頂きました。(2013年までの総計)
- 2012年 第1回親子ツアー開催  
\*計2回のツアーを行い、延べ24人に参加頂きました。(2013年までの総計)
- 2012、2013年 公立小学校を2校ずつ(計4校)建設し、開校式を実施

## MAKE THE HEAVEN CAMBODIA

## カンボジア支援プロジェクト 2013年事業報告

### ■ プノンペン市内・プノンペン近郊での支援

プノンペン市内の急速な経済発展により、貧富の差が激しくなり、生活が厳しい子や学校に通う事が困難な子供達がまだまだ沢山います。孤児院の運営、奨学金制度、スラムと他孤児院の支援、ごみ山の小学校へのお米支援等、プノンペンでは主に子供に笑顔が増えるサポートをしています。

### くっくま孤児院運営

2008年から、カンボジアの孤児院で育った踊りの先生達が、かつての自分達と同じ境遇の孤児の子供達を集めて孤児院を始めましたが、当時24人いた子供達の食費を捻出する事も困難になり、孤児院解散の窮地に追い込まれていました。そこで、踊りの先生達の頑張りを応援したい、素直で元気いっぱいの子供達を応援したいと思い、2011年から、MAKE THE HEAVEN CAMBODIAの孤児院として、先生達と共同運営を開始しました。

いろんな環境で育ってきた子供達は、くっくま孤児院で、毎日ご飯が食べられ、毎日水浴びが出来て、毎日学校に通って、毎日寝る場所がある。そんな当たり前の事に心から幸せを感じ、日々笑顔で楽しく生活しています。その笑顔は、施設を訪れたみんなを幸せにしてくれています。

現在は22人の子供達と、踊りの先生3人とスタッフ5人が、一緒に生活しています。元気な素直で優しい子供達と、その子供達を愛して一生懸命運営しているカンボジアの大人達、ここには素敵な笑顔が溢れています。

2011年からは、くっくまファミリーの各サポートコースをスタートして、毎月の食費や生活全般・教育の支援を行っている他、スタッフや子供達が作る箸袋(フェアトレード商品・2013年は200枚)や手作りのアクセサリを日本で販売し、自分達の力でも孤児院を運営出来るようにサポートしています。また、2011年11月には、多くのご支援を頂いて新しい土地と建物に移転し、自給自足を目指して庭で子供達が野菜やニワトリを育てています。2012年はソーラーパネルの設置を行いました。今後も子供達を応援する家族を増やしていきます。そして、2014年はジャパンツアー開催に向けて、企画、募金活動、日本国内やカンボジア現地での準備を進めています。

※くっくま孤児院の正式名称：CCMHA (Cambodia's Children Make the heaven Association) 孤児院



### ■ くっくま孤児院運営費内容

運営費：毎月約2,000\$

内訳：土地レンタル代500\$・お米450キロ・おかず&調味料600\$・学校費用(試験代・英語学校など)300\$・スタッフ給料(踊りの先生・調理スタッフ)・病院代・洋服や制服等の衣類・伝統舞踊の楽器や衣装・歯ブラシやせっけん等の生活用品・文房具等

※水道・電気代は、子供達がカンボジアの伝統舞踊を踊って頂いた募金で支払っています。

### ごみ山の小学校へのお米支援 日本からの物資支援

スタメンチャイ地区にある、今はもう使われなくなったごみ山の中に小学校があります。2013年も、そこへ通う子供達に、毎月お米を1人5キロずつ、合計で1,500キロ分のお米を支援しました。今後も、家族みんなが幸せになる支援を今後も継続していきます。また、スタディツアーの際に日本から支援物資をお預かりし、古着や文房具等を各支援先の子供達へ渡しています。



### バサックスラム支援

カンボジアを支援をするきっかけとなったのが、バサックスラムとの出会いでした。バサックスラムには2005年から毎月支援を行っており、寺子屋の毎月の食費(米米マン・おかずマン)や、運営する先生方のお給料、幼稚園の校舎設立、伝統舞踊の衣装や化粧品等の支援等を行った他、緊急時の医療費等のサポートも必要時に行いました。子供達は、スラム内のごみ拾いをしたり、伝統舞踊の練習をしたり、日々自分達に出来る事を精いっぱい頑張っています。

■ 米米マン・おかずマン 共に、毎月20,000円ずつの支援をしています。



### パパママ大作戦！奨学金制度

2005年の13人からスタートしたパパママ大作戦は、2013年で9年目を迎え、パパママの皆様のおかげで、プノンペン市内&近郊の貧困家庭の子供達の学校に通いたいという夢が叶えられ、安心して勉強を続ける事が出来ています。奨学生の写真付報告書や、本人からの手紙のお届け等、日本のパパママとカンボジアの我が子が繋がり、家族のような温かい心の交流が出来るようにお手伝いをさせて頂いています。また、新学年がスタートする10月にはパパママが出席出来る認証式を行っている他、パパママがカンボジアを訪ねてきてくれた際には、いつでも我が子に会う事が出来るようにコーディネートを行っています。2013年は、継続も合わせて493人の子供達が奨学金で学校に通う事が出来ました。

### NCCLA孤児院支援

プノンペン市内にあるNCCLA孤児院を運営している夫妻との出逢いを、私達カンボジアスタッフは奇跡と呼んでいます。素晴らしい2人から色々な事を学びながら、子供達への支援と交流を続けています。定期的に物資を送ったり、スタディツアーの際に夫妻が運営するレストランやクッキー屋さんを訪れたりする事で、自立支援を支えています。2013年夏のイベントの時期には、このクッキーをMAKE THE HEAVENがプレゼント用に3千枚買取りをしています。さらに、2013年はNCCLA孤児院の子供達の中から2人が高校を卒業し、大学応援基金によって計6人が大学に進学しています。今後も共に成長していきたいと思っています。

■プノンペン近郊&プレイヴェン州プレイクラン村での支援

村支援で最重要課題が、「自立支援」に向けての取り組みです。はじめの一歩をお手伝いする気持ちで、学校建設や井戸掘り、フェアトレード商品の作成等を、村の人達と協力し合い、共に勉強を重ねながら支援しています。

学校建築事業

2013年は、新たに公立の小学校を2校建設し、開校式を行いました。カンボジアでは、国の経済の発展と共に、教育にも力を入れ始めています。その為プノンペン市内を中心に、私立学校や塾がどんどん出来ており、ある程度家族の収入が安定している子供達はしっかり勉強出来る環境が整ってきています。しかし、地方では、学校に通いたくても通えない子供達がまだまだ沢山います。学校や教室が足りず、青空教室のような環境で勉強している子供達もいます。学校で勉強出来る事、学校で友達と一緒にのびのびと遊べる事が、どれだけ幸せで楽しい事なのかを、カンボジアの子供達は伝えてくれます。私達は、カンボジアの文部科学省から依頼された場所を実際に視察し、学校の先生達とミーティングをして学校建設の場所を決定していきます。2014年は新たに5校の学校建設を目標に活動していきます。



まいど大作戦！井戸掘り支援

2004年のカンボジア事務所設立当初から2012年までの8年間、皆様の想いが詰まった井戸をプレイヴェン州やシェムリアップ州の農村地域を中心に、合計850基以上掘ってきました。2013年は、12基の井戸を掘りましたが、新たな井戸掘り募集を停止し、今までに掘った井戸の定期的な水質検査を中心としたメンテナンスを行いました。今後も基準値をクリアした安全な水を提供し、村の家族がこれからも安心して井戸を使用する事が出来るよう支援を続けていきます。

プレイクラン村支援

プレイクラン村を初めて訪れた際に、子供達が民家の軒下でぎゅうぎゅうになって勉強している寺子屋と出会った事をきっかけにして、2006年にプレイクラン村に村人の手作りで3教室の校舎を建設しました。基本的に幼稚園～小学校3年生レベルまでの子が通い、4年生からは公立の小学校に通っています。2010年には、支援によって校舎の建替えを行い、レンガやコンクリートで建てられた校舎が完成しました。2011年からは、毎月7回、学校の子供達におかゆ給食を提供してきました(2013年10月迄)。また、学校に遊具をプレゼントしたり、古い教室の建て替えをしたり、定期的に文房具等の支援も行っています。2014年は、村の完全自立に向けて本格的に養鶏プロジェクトを発足したり、公立小学校の先生を村に招待して、先生達の教授法スキルアップを目指していきます。



スタディツアー&現地コーディネーター&日本語教師インターン

これまで、2004年から延べ22回のスタディツアーを行いました。「まずは行ってみよう。」「まずはやってみよう。」「きっとその先に何かがあるはず。」を合言葉に、2013年は夏と冬に2回開催し、沢山の方がカンボジアに来て、各施設の子供達との交流や、村でのホームステイ、井戸掘り体験等を行いました。カンボジアの子供達と一緒に生活する事で、今を一生懸命生きる子供達の笑顔に癒され、刺激をもらい、最終日には何人もの参加者さんが涙を流して帰っていきます。スタディツアー以外でも、くっくまツアーや親子ツアー、友人を連れ立ってのミニツアーや、個人旅行の延長でのカンボジア訪問等のコーディネーターも随時行い、学生さんの卒業旅行や、会社での社員旅行にも利用して頂きました。また、日本語教師のボランティアが子供達へ日本語教室を開催したり、美容師さんが青空カットをしてくれたり、バルーンアートや似顔絵を書いてくれたりする等、訪問者の特技を活かし、カンボジアの子供達も喜ぶ交流を行いました。



## カンボジア支援プロジェクト 2013年事業報告

### ジャパンツアー

2005年に第1回ジャパンツアーを行い、その後、2006年・2007年・2010年とこれまでに計4回のジャパンツアーを行いました。そして、2014年に5回目のジャパンツアーを開催する事が決定しました。今回は、2014年8月にくっくま孤児院の22人の子供達を日本に招致して、日本各地でイベントを行い、自慢の伝統舞踊を披露します。ジャパンツアーで得た収益により、カンボジアに小学校を建設するという壮大な夢に向かって、スタッフと子供達と一緒に楽しみながら準備をしています。



子ども達に日本行きを発表した瞬間の様子

## MAKE THE HEAVEN CAMBODIA

### カンボジア支援プロジェクト 2013年事業報告 スタディーツアー参加者の声

#### 中学生 女性

本当に最初の方は、すごく不安で仕方なかったけど、子供達のはじける、すっごくかわいい素敵な笑顔と人懐っこさで、不安なんてすぐに吹き飛んでしまいました。みんな本当にかわいくて、優しくて、日本人にはないものを沢山見つける事が出来ました。今では、日本に帰りたくないくらい、ここが大好きです！住みたいくらいです！日本で普通に生活していたら絶対に体験する事の出来ない、すばらしい体験・経験をさせて頂きました。今、人生で一番幸せです。

#### 40代 女性

9日間、本当に充実した愛でいっぱいの毎日をおかげさまで生きました。本当にありがとうございました。メイクザヘブンのスタッフの皆さん、そして子供達が、私達が楽しく過ごせるように、心からおもてなしして下さってるのが伝わってきて、本当に楽しく、心あたたかく、感謝の気持ちでいっぱいです。今回参加して、スタッフの方のあり方を目の当たりにし、ものすごく本質的で腹におちました。参加者のメンバーの方とも出会えて、本当に良かったです。ありがとうございました。

#### 高校生 男性

子供達と一緒に遊んだり、ゲストの歌や話を聞いたり、意外と美味しかったご飯を食べたり、あっという間の9日間だったなぁと思います。今では、日本に帰りたくないくらいの気持ちです。アンコールワットの遺跡や、カンボジアの歴史を学んだり、村の生活などいろいろありましたが、とくに大きかったのは子供達との出逢いです。すごく優しくて気が利くし、自分より小さい子供達がいろいろやってくれて尊敬しました。あとは、みんな夢を持っていて、そのためにみんな努力していて、すごくらやましかったです。とにかくすごく学ぶ事が出来ました。絶対に、またカンボジアに行って、子供達と遊びたいです。一生忘れる事のない旅になりました。



## WONDERFUL WORLD 植林FESTIVAL 植林・間伐プロジェクト

今世界中で気候の変化により雨が減っています。人間がこのままの生活を続けた場合、更に雨が減って、食糧生産量は減り、食糧危機が起こり、結果、水の奪い合いの戦争が起こると予想されています。これからは、人々が競いあったり奪いあったりするのではなく、心を一つにして力を合わせる時だと思えます。

当プロジェクトは、「緑」と「希望」  
いっぱい地球を未来の子供達に届けるために、国境も年齢も性別も超えてみんなで力を合わせ、地球に一本でも多くの木を増やす活動、一本でも多くの自然林を守る活動、そして、一人でも多くの環境意識を高めて動き出す人を増やす活動をしています。

2013年は、め組 JAPAN との共同企画『希望の森もり大作戦～東北植林編～』で「森の防潮堤」を作る植林のために広葉樹の育苗を行いました。また、4月と9月に内モンゴル植林ツアーを、8月に日本の森を手入れする間伐ツアーを宮城と和歌山で行いました。各ツアーを通してたくさんの人に参加頂き、たくさんの人と力を合わせて笑い楽しみながら「緑」と「希望」を増やす事が出来ました。



### 足あと

- 2005年4月** 第1回中国内モンゴル植林ツアー  
\*2013年までにツアーを計10回開催しました  
(2013年は4月と9月に開催)
- 2008年11月** 植林事務局をWONDERFUL 植林FESTIVALと命名し、新たに事務局を設置。同時に一元募金プロジェクト開始  
\*2013年までに一元ヒーローが867名となりました。
- 2009年6月** 第1回ブラジル植林ツアー開催
- 2009年8月** 第1回南アフリカ植林ツアー開催  
\*2010年11月に第2回南アフリカ植林ツアーを開催しました。
- 2010年3月** 国内植林ツアー開催  
\*2010年3月と2011年2月に和歌山植林ツアー、2010年10月に1000人の熊本植林を開催しました。
- 2010年4月** 国内間伐ツアー開催  
\*2013年までに、宮城、静岡、奈良、和歌山、熊本5県で計8回の間伐ツアーを開催しました(2013年は宮城と和歌山で開催)。
- 2012年1月** 東北植林の準備開始  
\*9月に「希望の森もり大作戦～東北植林編～」と名付け、スポンサーや育苗の募集を開始しました。



■ 植林プロジェクト概要

どうしたら当たり前前に雨が降る地球を未来の子供達に残せるのだろうか？その答えの一つが植林でした。木を植えると、雲が出来て雨が降ります。そこで、2005年に第1回中国内モンゴル植林ツアーを開催しました。そして、2008年には「WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL (以下ワンフェス)」と名付けて、新たに事務局を設置し、「一円玉で世界を緑だらけにしちゃおう大作戦」を開始しました。2012年からは東日本大震災の津波で被害のあった福島県から青森県の沿岸部に森の防潮堤を創りたいという想いで、東北で広葉樹の苗木を育て始めました。2013年は、一円募金活動・東北植林の苗木のオーナーさん募集した他、4月と9月に中国内モンゴルで植林ツアーを行いました。

一円募金～一円玉で世界を緑だらけにしちゃおう大作戦～

ワンフェスでは、苗木代として日本で一番小さなお金の一円玉を集めています。一円募金を通して、「一人ひとりの力は微力でも決して無力ではない」、「みんなで力を合わせれば、大きな力に変わる」という事を伝えています。そして、一円玉を見るたびに「これでまた緑が増える！」という「一円玉＝緑」の意識をまずは日本から広めています。また、一人のヒーローが世界を救うのではなく、一人ひとりが世界を変えるヒーローになろう！という想いから、一円玉を集めてくれる人を「一円ヒーロー」と呼び、一円マン、一円レディ、一円レンジャー、一円ステーションの4つのヒーローを募集しました。



【2013年の実績 登録人数：10人(チーム) 募金額：359,637円】

【2013年までの累計 登録人数：867人(チーム) 募金額：9,658,404円】

中国内モンゴル植林

2013年4月と9月に、第9回、第10回中国内モンゴル植林ツアーを行いました。4月のツアーでは、中学生が参加し、若い世代にも大地に木を植える喜びや楽しさを伝える事が出来ました。9月のツアーでは、草原が広がり、昆虫や爬虫類だけでなく野鳥も帰ってきて、鳥の鳴き声や虫の姿をたくさん見る事が出来ました。5～6羽の鷹が植林地のはるか上空を旋回している姿は、『木を植えてくれてありがとう』と伝えられたようで嬉しい光景でした。

また、4月のツアーには中国人のご夫婦も参加頂き、2回のツアーとも現地の中学生30名と一緒に植林を行う事が出来て、国籍の壁を越えて日本人と中国人が1つになり、共に地球を大切にしていける気持ちを共有する事が出来ました。

\*第9回中国内モンゴル植林ツアー：ツアー参加者26名+中国の中学生30名で、ポプラと柳を3800本植林

\*第10回中国内モンゴル植林ツアー：ツアー参加者17名+中国の中学生30名で、スナナツメとポプラを3000本植林



東北植林プロジェクト「希望の森もり大作戦～東北植林編～」(め組 JAPAN との共同企画)

2011年10月、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏が「瓦礫を使った森の防潮堤プロジェクト」を打ち出しました。有害な物を省いた瓦礫を使って土手を築き、深根性・直根性の常緑広葉樹を混植・密植で植林する計画です。森の防潮堤は防潮堤本来の役割を果たすだけでなく、津波が防潮堤を乗り越えた場合でも、津波の速度を和らげて人や家屋・家財の流出を防ぎ、被害を最小限に抑えられる事を知りました。ワンフェスはこのプロジェクトに賛同し、2012年1月から東北植林の準備を始め、9月には「希望の森もり大作戦～東北植林編～」と名付け、め組 JAPAN との共同プロジェクトとして活動しています。現時点ではまだ具体的な実施計画はできていませんが、森の防潮堤造りの実現に向けて樹木の種を拾い、苗木を育てています。2013年は、芽を出した10種類約14,000本の苗木を育てながら、新たに11種類15,000粒以上の種を拾いました。種拾いでは地元の方々の参加を募り、一緒に山に入って種を取るための母樹を探したり、山を散策したりして自然に触れてもらう事が出来ました。また、育苗では仮設住宅の方々と一緒に植え替え作業をして、未来の子供達や自分の街に貢献する活動をみんなで楽しみながらする事で、仮設住宅で暮らす方々に新たな生きがいを見つけてもらうきっかけを作る事が出来ました。



■ 間伐プロジェクト

今、日本の森はほったらかしにされ、元気がなくなってしまっている事、それが原因で大雨の時に災害が起きている事、そして、森の元気を取り戻すにはスギやヒノキが元気に育つように間伐をして、森に光を届ける必要がある事を知りました。ワンフェスではこの事実を知り、みんなが出来る間伐方法として NPO 法人「森の蘇り」のきらめ樹間伐を取り入れました。一人でも多くの人に森の現状を伝える事で、森の手入れするリーダーが各地に増えたり、国産材や森で働く方々の支援に興味を持ってもらう「最初の一步」のきっかけを提供しています。

間伐ツアー報告

間伐ツアーでは、NPO 法人「森の蘇り」の指導のもと、日本の森、世界の森の現状と間伐の基礎を学び、実際に森に入ってきらめ樹間伐を実践しています。7月の復興支援も兼ねた宮城間伐ツアーでは、きらめ樹間伐だけでなく、石巻やハワイの子供達と竹の伐採や浜の清掃も行い、森や浜に光を届ける事が出来ました。

8月の和歌山間伐ツアーでは、18名の子供達が参加し、初めはオドオドときらめ樹間伐をしていた子供達も終わるころには自由に山を上り下りしていたり、川で遊んだり自然と繋がり森も人も元気になるツアーとなりました。きらめ樹間伐は、チェーンソーや重機を使わず、ノコギリだけで楽しく間伐する事が出来るため、子供からおじいさん、おばあさんまで、幅広い年齢の方々に参加して頂き、たくさんの子供達の笑い声が森の中に響きました。また、間伐ツアーは植林ツアー同様、大地と人が繋がり全国各地の参加者が繋がるきっかけとなり地元へ帰ってからの最初一歩に繋がっています。2014年も、より多くの人に日本の森・世界の森の現状を知ってもらい、森を守り、人の元気になるプロジェクトを進めていきます。

※宮城間伐ツアー：10名の参加者、石巻&ハワイの方々と44本のきらめ樹間伐しました(間伐概算面積450㎡)。

※和歌山間伐ツアー：31名の参加者と41本のきらめ樹間伐しました(間伐概算面積550㎡)。



【内モンゴル植林ツアー】

30代 女性

中国と日本の違いを実感出来た事や様々な現状を自分の目で確認出来て、色々な見方を聞いた事が私の一歩になりました。そして何より楽しかった～！最高に印象に残ったのが、内モンゴルの子供達との交流で、人に伝える、また、伝える事の大切さを確認しました。

10代 男性

ご飯は美味しいし、飲み物も飲みやすく、パオで寝たり砂漠でゴロゴロしたりとすばらしい体験が出来てよかったです。植林の大切さについてさらに深く、知識を深める事が出来ました。ホンマにおもしろかったです。また、参加したいです。謝謝

【宮城間伐ツアー】

40代 女性

被災地の現状を知れて、今出来る事を考えるきっかけになりました。皮むき間伐、地元でもやりたいと思っています。暗い森から、光と緑と命あふれる森へ再生する事を身近に考えられるようになりました。今回の森をずっと見ていきたいなって思いました。そして復興した浜をみんなで見に行きたいです。

30代 女性

みなさんに会って世界が広がって、同時に、今日の前にある小さな一歩や小さな喜びがどんなに大切で、しあわせなのかをまた気づく事ができました。周りに支えられて私が笑顔でいられる事を再確認でき、大きな自然や色々な人がいてくれるから生きていけるし、心がたくさん動く事を感じる事が出来ました。

【和歌山間伐ツアー】

高校生 男性

とても良い経験をさせて頂きました。自分の中で考え方がいろいろと変わり、発見する事ができました。今後の活動にもできるだけ参加していきたいです。

家族で参加の女性

夫が最初乗り気ではなかったのに、今はすごくいい感じ。家族がすごくいい調子になれました。また家族で参加できる企画をお願いしたいです。



め組 JAPAN

東日本大震災復興  
支援プロジェクト

活動概況

2011年3月11日の東日本大震災を受け、全国から過去に3度結成された緊急災害復興支援チーム「め組」の再結成を望む声を頂き、東日本大震災復興支援チーム「め組 JAPAN」を発足しました。当プロジェクトは、震災当初から宮城県石巻市に入り、状況に応じて刻々と変わっていく現地の方々のニーズに合わせて支援を続けています。

め組 JAPAN の活動で大切にしている事は「つながり」です。2011年・2012年と年々、復興支援団体の数も、ボランティア人口も減少しました。その分、地域とのつながり、行政とのつながり、他団体とのつながり、自然とのつながりを大事にしながら復興支援活動を行っています。2013年は、寄り添い活動とワンフェスとのコラボ企画『希望の森モリ大作戦～東北植林編～』に絞って活動を継続しています。



足あと

- 2011年3月14日 め組JAPAN 発足
- 2011年3月16日 め組JAPAN 先発隊が宮城県石巻市に到着し物資配給や炊き出し、泥出し、クーラー（ボランティア）の受け入れなどの支援活動を順次開始
- 2011年3月20日 石巻災害復興支援協議会（旧：石巻支援連絡会）に加入
- 2011年5月 希望の種まきイベント「SEED'S OF HOPE」を開催
- 2011年6月 子供達への支援や仮設住宅の訪問など、寄り添い活動開始
- 2011年7月 被災地の家族の疎開プロジェクト「洞爺バケーション」を開催
- 2012年3月11日 追悼式典「祈りの灯り希望の灯り」、尾崎の慰霊祭の運営サポート
- 2012年4月 南浜ひまわりプロジェクト開始
- 2012年10月 おだってばりいで、開業届提出
- 2012年12月 全国、世界各地から届いた795枚のクリスマスカードを仮設住宅、在宅の方々へお届け
- 2013年2月 め組JAPANの仲間達が子供支援団体「こども∞（無限）感ばにー」を発足
- 2013年4月 活動の中心を寄り添い支援と、WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL との共同企画「希望の森モリ大作戦～東北植林編～」に移行（詳細P15参照）
- 2013年6月～9月 西日本を中心にめ組JAPANが行ってきた復興支援の報告会ツアーを開催

### 寄り添い活動活動

め組 JAPAN は、泥出しをさせて頂いたお宅や、仮設住宅で生活する皆さんなど、これまでに出会った住民の方々とのご縁を大切に、被災された方々に寄り添いながら支援を続けていきます。

仮設支援で初めに取り組んだのは住民さん達が知り合うための場作りの提供でした。2013年は、集会所を利用して、お茶会・健康講座・もの作りなどのイベントを開催し、住民さん同士が互いに知り合い繋がる場を提供して皆さんに喜んで頂きました。

また、必要とされる支援の内容が心のケアに変わってきており、自治会の形成にも関わる等、保健福祉課や介護包括、社協、行政や地元の団体などと連携を取って、より細やかな支援を行いました。2013年も、仮設住宅だけでなく、被災後も在宅で過ごされている高齢者や、独り暮らしの方々を定期的に訪ねて交流を深めてきました。石巻に大切な家族がたくさん増え、住民さんも自分達の子供や孫のような気持ちで接してくれて、め組 JAPAN の皆が訪ねて来るのを楽しみに待っています。



### 活動報告会ツアー

2013年6月から4ヶ月間、め組 JAPAN の復興支援活動報告会ツアーを日本各地で行いました。27県を回って計36回、約700名を動員し、2年間の活動報告と今後の支援についてお話ししました。少しでも多くの方に東北の事を知って欲しい、め組 JAPAN の活動がボランティアや地元の方々の「一歩」にどう繋がり、そこから何が生まれたかを知って欲しいという想いで始まったツアーですが、改めて多くの方に支えられて活動出来た事、多くの一歩を応援出来た事に感謝と喜びで胸がいっぱいになりました。ツアー中は多くの方に参加・協力して頂き、心より感謝しています。これからも自分達一人ひとりから出来る事を笑い楽しみながらやっていきます。



### め組 JAPAN から自立した仲間達の活動

め組 JAPAN で活動したお手伝いクルーは延べ2万人以上になります。め組 JAPAN が活動を続けられたのは、全国、世界各地から支援金や物資を送って下さった方や、現地で活動してくれたクルー達一人ひとりの一歩があったからです。

「あの町の前を通るたびに悲しい気持ちになる」。そんな地元の方々の声を受け、津波で壊滅的な被害を被った石巻市南浜町の住宅跡地に、2012年の夏にひまわりを植えさせて頂きました。2013年3月からは長期でお手伝いクルーをしていたメンバーが独立し、出来る範囲で続けたいと南浜プロジェクトの活動を継続してくれています。

め組 JAPAN ものづくりチームから生まれた、石巻のお母ちゃん達の手仕事チーム「おだってばりい」は2012年に開業して、お母ちゃん達の手で活動を続けています。また、め組 JAPAN で長期に渡り活動してくれた仲間達3名で、2013年に子供支援の団体「こども∞(無限)感ばにー」を立ち上げ、今も継続して石巻で子供の居場所・遊び場づくりの活動を続けています。

南浜ひまわりプロジェクト2013: <http://p.tl/Vlbu>  
おだってばりい: <http://www.odatte.jp/>  
こども∞(無限)感ばにー: <http://codo-pany.jimdo.com/>



### 東北植林プロジェクト「希望の森もり大作戦～東北植林編～」(ワンフェスとの共同企画)

WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL とのコラボ企画『希望の森もり大作戦～東北植林編～』の様子です。

※活動の詳細に関しては、WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL の活動概要ページをご覧ください



# 啓発事業

MAKE THE HEAVEN 映像部  
インターン受け入れ・ツアーやイベントの開催

## 啓発事業

## 映像部 2013年事業報告

### ■活動概要

映像部では、「映像」は世の中にある希望をたくさんの人に伝える最高のツールという想いの元に制作しています。伝えたい事をただ真面目に伝えるのではなく、一人でも多くの人を受け取りやすいようにエンターテインメントとして伝えていく事で、世の中に希望や元気、笑顔を増やす活動を行っています。2009年に完成した映画「107+1 ～天国はつくるもの～Part2」は、これまでに7万人以上を動員し、世の中に希望や元気、笑顔を増やしました。しかし、毎年日本中で病気の方が増え続けていて、多額の医療費が掛かっている事を知り、病気で苦しむ人を少しでも減らす事が出来たらと、2010年7月、映画「107+1 ～天国はつくるもの～Part2.5(仮)」を製作するために映像部を再発足しました。2013年は、引き続き医療関係者や患者さんの取材を行い、「ガン=死」「死=絶望」という思い込みを取っ払う映画を制作中です。

### ■映像部の2013年制作DVD(販売用)

「アホは成功の近道～西田文郎によるアホの勧め～」西田文郎 × てんつくマン(音声CD付き)



### ■映像部のこれまでの映画作品

映画「107+1 ～天国はつくるもの～Part1」(2003年製作 / 2013年までの動員数: 約14万人)

映画「107+1 ～天国はつくるもの～Part2」(2009年製作 / 2013年までの動員数: 約7万人)



# 啓発事業

## ツアー・イベント 2013年事業報告

### ■活動概要

たくさんの人と人が繋がり、同じ志を持つ仲間が出来る事で、その後の人生が大きく変わります。MAKE THE HEAVENでは、「1人の100歩よりも100人の1歩」で世界を変えていくために、毎年多くのツアーやイベントを開催し、最高の仲間と出逢える場を提供しています。2013年も、参加した人がただ感動するだけではなく、新たな一歩を踏み出せるツアーやイベントを開催し、多くの出逢いやきっかけを提供する事が出来ました。

### 2013年のツアー・イベント活動実績

- 1月14日 「天まで届くアホになりたい人新年会おかん応援ライブ」 動員数: 約300人
- 3月16、17日 「げんきのたねまきツアー in 石巻」(石巻市近郊9ヶ所で実施) 参加人数: 延べ約70人
- 3月27日～4月4日 「第3回カンボジアくっくまツアー」 参加人数: 29人
- 4月8日 「EXPLOIT408-おかん夢叶う時、大阪城ホール」 動員数: 約6000人
- 4月16～21日 「第9回内モンゴル植林ツアー」 参加人数: 26人
- 7月17日 「げんきのたねまきツアー in 淡路島」 参加人数: 約150人
- 7月26～28日 「第7回森を散発して森の恋人も大喜び合宿 in 宮城」 参加人数: 10人
- 8月1～7日 「洞爺バケーション2013」 参加人数: 14人
- 8月1～10日 「第21回カンボジアスタディツアー」 参加人数: 14人
- 8月17、18日 「祭りだ祭りだ～アホの岩戸開きワッハッハ!!～」 動員数: 延べ3000人
- 8月20～28日 「第4回カンボジアくっくまツアー」 参加人数: 36人
- 8月24～26日 「第8回人も自然もキラキラ輝く! 森の手入れキャンプ in 和歌山」 参加人数: 31人
- 9月10～15日 「第10回内モンゴル植林ツアー」 参加人数: 27人
- 9月11日 「げんきのたねまきツアー in アニキ塾」 参加人数: 65人
- 11月5日 「げんきのたねまきツアー in 新潟」 参加人数: 26人
- 12月23～31日 「第22回カンボジアスタディツアー」 参加人数: 20人



## 会員・募金・スポンサー

MAKE THE HEAVEN では、支援の内容に応じて、いろいろなサポート方法を用意しています。活動のサポート、よろしくお祈りします。



MAKE THE HEAVEN 全体のサポート  
め組 JAPAN < サポート

### ■ MAKE THE HEAVEN 会員 ■ ■ ■

MAKE THE HEAVEN の会員になる事が出来るスポンサー制度です。頂いたお金は MAKE THE HEAVEN の各プロジェクトの活動費に使わせて頂きます。会員になって頂く事で、活動報告書や定期発行の新聞、MAKE THE HEAVEN 主催のツアー・イベントの優待などをさせていただきます。

詳細：<https://39auto.biz/maketheheaven/regires.php?tno=180>

### ■ エレファントスポンサー ■ ■ ■

MAKE THE HEAVEN が出版している、ちびさん本の販売店になる事が出来るスポンサー制度です。頂いたお金は MAKE THE HEAVEN の各プロジェクトの活動費に使わせて頂きます。スポンサーのコースに応じて、ちびさん本のプレゼントや、卸値の割引があります。

詳細：<http://www.maketheheaven.com/erefant/>

### ■ 天国はつくるもの基金 ■ ■ ■

MAKE THE HEAVEN 全体をサポートして頂く募金制度です。頂いたお金は MAKE THE HEAVEN の活動費及び、め組 JAPAN の復興支援活動費に使わせて頂きます。

詳細：[http://maketheheaven.com/megumijapan/?page\\_id=16](http://maketheheaven.com/megumijapan/?page_id=16)

### ■ ワンフェス賛同スポンサー ■ ■ ■

MAKE THE HEAVEN の植林・間伐活動プロジェクト「WONDERFUL WORLD 植林 FESTIVAL (以下ワンフェス)」のスポンサー制度です。頂いたお金はワンフェスの活動運営費に使わせて頂きます。スポンサーのコースに応じて、ホームページでの広告掲載、記念グッズプレゼントの他、ワンフェスが行った植林・間伐地に設置する記念看板にお名前を入れさせていただきます。

詳細：<http://www.wonderful-world-syokurin.org/entry/?section=2>

### ■ 一元募金 ■ ■ ■

ワンフェスが行っている一元玉の募金制度です。集まった募金は、ワンフェスが行っている植林活動の苗木代に使わせて頂いています。

詳細：<http://www.wonderful-world-syokurin.org/entry/?section=1>

### ■ 森モリオーナー ■ ■ ■

ワンフェスとめ組 JAPAN の共同企画「希望の森モリ大作戦～東北植林編～」のオーナー制度です。遠く被災地から離れている人も想いを一つにして、あなたに変わりワンフェスで苗木を育てます。「被災地復興の力になりたい」「東北に行けないけど、想いはずっと一緒！を伝えたい」「東北の沿岸にでっかい希望の森を作るお手伝いをしたい」という方に最適です。

詳細：<https://39auto.biz/maketheheaven/regires.php?tno=168>

植林・間伐事業

### ■ パパママ大作戦！カンボジア奨学金 ■ ■ ■

学校に通えないカンボジアの子供達へ奨学金を贈る、教育里親の支援制度です。1口(1万円)で1人の子供が、1年間学校に通う事が出来ます。サポートして下さった方に、ご支援頂く我が子(奨学生)の写真付き報告書(奨学金証書)や、カンボジアの我が子本人から手紙が届きます。

詳細：<http://maketheheaven.com/cambodia/ppmm/>

### ■ くっくま孤児院 ■ ■ ■

笑顔あふれるくっくま孤児院の子供達を応援する支援制度です。くっくまファミリーとして、お父さんコース・お母さんコース等があり、サポートして下さった方には、子供達からお手紙や絵が届きます。

詳細：<http://maketheheaven.com/cambodia/ccmha/>

### ■ カンボジア支援 ■ ■ ■

カンボジアのスラムや孤児院で生活する子供達の生活全般を支援する制度です。また、バサックスラムの子供達に1ヶ月分のお米とおかずを支援する、「米米マン」「おかずマン」という制度もあり、支援して頂いた方々のお名前をHPに掲載させていただきます。

詳細：<http://maketheheaven.com/cambodia/bassac/> (バサックスラム支援)

<http://maketheheaven.com/cambodia/cambodia/> (カンボジア支援)

### ■ 学校建築 ■ ■ ■

学校のない村に学校を建てたり、雨風が入る校舎の建て替え等、主に公立の小学校を建設する支援です。企業や団体のお名前を校舎に書いて、子供達全員と開校式を行います。建設後も、子供達と温かい交流が出来ます。

詳細：<http://maketheheaven.com/cambodia/school/>

### ■ ジャパンツアー募金 ■ ■ ■

2014年夏に、日本に来るくっくま孤児院の子供達の航空券代やバスポート作成代、日本国内のツアー運営費を、ご縁募金&1万LOVE募金として集めています。金額によって、ポストカードやツアーグッズをお礼に送ります。

詳細：<http://maketheheaven.com/cambodia/jptour/>

### ■ 映画製作サポート基金 ■ ■ ■

NPO 法人 MAKE THE HEAVEN が現在製作している映画、「107+1 ~天国はつくるもの~ Part2.5(仮)」のスポンサー制度です。頂いたお金は全額、映画制作費に使わせて頂きます。一口(5,000円)ごとに1枚ずつ、現在映画制作のために取材している方々のインタビュー映像(非売品)をプレゼントさせていただきます。

詳細：<http://maketheheaven.com/eizou/>

### ■ フィリピンへのサポート ■ ■ ■

2013年11月に巨大台風が襲ったフィリピンへの募金制度です。こちらに頂いたお金は現地での復興活動に使わせて頂きます。

詳細：<http://maketheheaven.com/>

カンボジア自立支援事業

啓発事業

フィリピンサポート

# 2013年 会計報告

## 収支計算書

2013年1月1日～2013年12月31日

### 収入の部

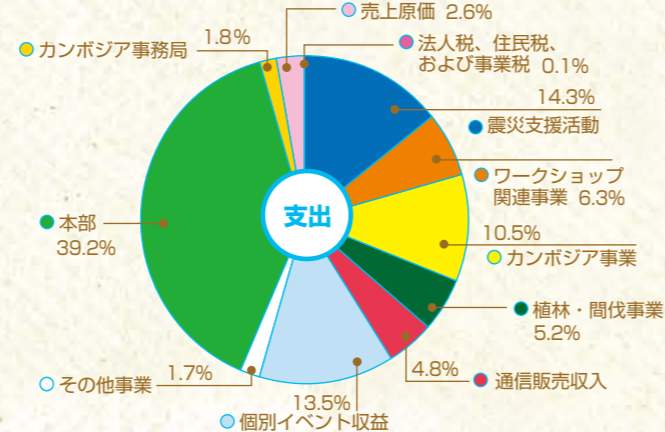
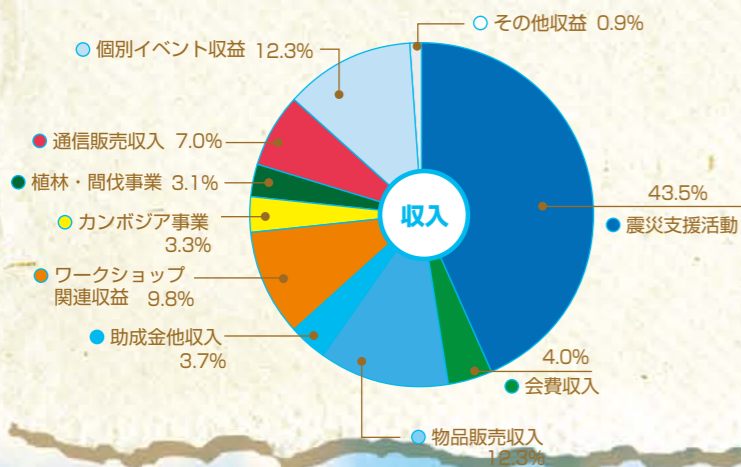
(単位：円)

1.事業収入	ワークショップ関連収益	8,616,739	31,890,713
	カンボジア事業	2,909,707	
	植林・間伐事業	2,681,993	
	通信販売収入	6,139,266	
	個別イベント収益	10,795,508	
	その他収益	747,500	
2.会費収入 ※注1			3,501,954
3.寄付金収入 ※注2			38,102,299
4.物品販売収入			10,794,346
5.助成金他収入			3,241,457
当期収入合計			87,530,769
前期繰越収支差額			35,784,954
収入合計			<b>123,315,723</b>

### 支出の部

(単位：円)

1.事業費	震災支援活動	14,262,678	56,148,052
	ワークショップ関連事業	6,307,697	
	カンボジア事業	10,465,918	
	植林・間伐事業	5,148,298	
	通信販売収入	4,831,208	
	個別イベント収益	13,452,532	
	その他事業	1,679,721	
2.管理費 ※注3	本部	39,118,286	40,958,966
	カンボジア事務局	1,840,680	
3.売上原価			2,583,279
当期支出合計			99,690,297
法人税、住民税、および事業税			90,928
営業外収益			114,308
当期収支差額			<b>(12,136,148)</b>
次期繰越収支差額			<b>23,625,426</b>



## 貸借対照表

2013年12月31日現在

### 資産の部

(単位：円)

流動資産	現金預金	19,296,050
	売掛金	85,013
	商品	2,062,516
	未収入金	217,707
流動資産合計		<b>21,661,286</b>
固定資産	土地	3,000,000
	車両運搬具	520,904
	工具器具備品	263,998
	敷金	320,000
固定資産合計		4,104,902
資産合計		<b>25,766,188</b>

### 負債の部

(単位：円)

流動負債	未払金	976,971
	未払消費税等	281,300
	未払法人税等	80,000
	預り金	463,736
	仮受金	315,375
流動負債合計		<b>2,117,382</b>
負債合計		<b>2,117,382</b>

### 正味財産合計

(単位：円)

	前期繰越正味財産	35,784,954
	当期正味財産増加額	△12,136,148
正味財産合計		<b>23,648,806</b>
負債及び正味財産合計		<b>25,766,188</b>

#### 注1 会費収入内訳

(単位：円)

正会員	390,000
賛助会員	420,000
マンスリーサポーター	2,691,954
会費収入計	3,501,954

#### 注2 寄付金収入内訳

(単位：円)

メイクザヘブン本部	8,483,399
フィリピン支援金	3,029,461
震災支援活動	1,184,955
植林・間伐活動	1,454,131
一元募金(苗木代)	359,637
パパママ大作戦	4,910,000
まいど大作戦	1,620,000
カンボジア支援	16,151,040
くっくま孤児院	909,676
寄付金収入計	38,102,299

#### 注3 管理費内訳

(単位：円)

給与手当	7,236,783
旅費交通費	1,158,506
消耗品費	1,373,850
印刷製本費	872,332
諸謝金	741,540
カンボジアパパママ	1,596,946
カンボジアまいど	1,038,182
カンボジア井戸修繕費	5,683,507
カンボジアフェアトレード	330,795
海外活動経費	5,072,558
外注費	4,144,180
減価償却費	418,079
地代家賃	480,000
寄付金支出	8,167,289
その他	803,739
管理費計	39,118,286

#### 監査報告書

特定非営利活動法人MAKE THE HEAVENの2013年度決算について、事業は適切に実施され、また、収支計算書及び貸借対照表は、経営状況及び財政状態を適正に表示しているものと認めます。

2013年 3月 12日

監事 二瓶 明



NPO 法人 **MAKE THE HEAVEN**

〒651-1145 兵庫県神戸市北区惣山町1丁目14-1

tel/fax:078-201-7104 mail:info@maketheheaven.com

<http://maketheheaven.com/>